

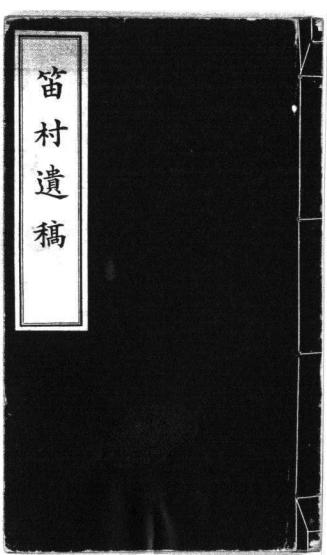
井川笛村

（1868—1931）

日本畫家、漢詩人。天保十四年九月十一日大和國笛當

村生れ、大正九年（1920）四月一日没（1920年4月10日）。書籍、文庫叢書。別號
津波竹子、津波加古方橋、白雲庵、五貴庵、笛村樂翁、笛村樂翁芳
橋、笛翁、笛翁樂翁橋、笛翁共方橋、共方橋、葛城山隱、葛城山隱共方橋、
葛城山隱共方橋等。九州、近畿、關東、關西の書評、歌謡、刀劍鑄録の
門に入る。書の如きは『山川』、『葛城山』、『葛城山の私記』、『南京正派』以降から
仕じだ。晩年は朝の煙草、夜の火燭、大明後十餘年、須磨に没す。

著書に『二十管絃集』等の他、「柳葉集」（柳葉集）と改めた、「柳葉集」（柳葉集）がある。



笛村遺稿